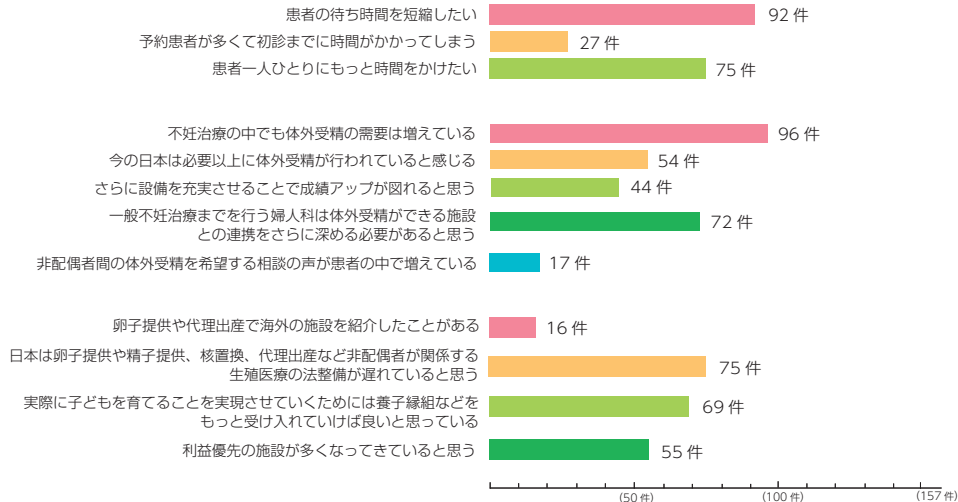


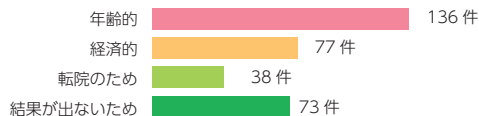
治療施設の思いなど

最後に今のARTに関係するいろいろな設問を設けて心情をお聞きました。この結果はARTの現状と今後のARTにも関係してくることで、それぞれに以下設問内容と回答件数などから様子を知ること、あなたが治療を受ける上での参考になるでしょう。

11-1 ART施設の現実・現場の思い



11-2 治療をリタイアする時の理由



11-1 ART施設の現実・現場の思い ▶待ち時間の短縮、ART需要の増加、法整備が課題か？

ここでは、上記ご覧いただきました12項目に関しての様子がわかります。グラフから特に長いバーの内訳を見ると、待ち時間の短縮、患者ひとり一人の診療時間を増加、体外受精の需要増加、一般不妊治療までを行う施設との連携、非配偶者間の診療に関する法整備の遅れ、養子縁組の受け入れが高いポイントになっています。

また、利益優先の施設が増えていると思うと回答する施設が多いことも心配です。

11-2 治療をリタイアする時の理由 ▶年齢的な理由が一番

患者さんが治療をリタイアする理由として、年齢的なことを回答する施設が一番多く136件（87%）、続いて経済的な理由、そして結果が出ないことが続きます。

また、特別に設けた『体外受精の今と将来を思うこと』についても多くの意見が寄せられました。

資格について ◆医師…生殖医療専門医（日本生殖医学会）

◆培養士…生殖補助医療胚培養士、管理胚培養士（日本卵子学会）／臨床エンブリオロジスト（日本臨床エンブリオロジスト学会）

◆看護師…不妊症看護認定看護師（日本看護協会）

◆カウンセラー…不妊カウンセラー、体外受精コーディネーター（日本不妊カウンセリング学会） などがあります